

一人ひとりの力を引き出しつないで創造する






とき●9月10日(火)19:00~21:00

ところ●デイサービスおむすび

講師●中津川忍 ((株) ケアーシップ)

出席●12名

<今回の内容に関係のあるSDGsの目標>

	「あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進しよう」
	「誰も取り残さないで持続可能な経済成長を促進し、全ての人が生産的で働きがいのある人間らしい仕事に就くことができるようにしよう」
	「災害に強いインフラを作り、持続可能な形で産業を発展させイノベーションを推進していこう」
	「安全で災害に強く、持続可能な都市及び居住環境を実現しよう」
	「持続可能な開発のための平和的で誰も置き去りにしない社会を促進し、全ての人々が法や制度で守られる社会を構築しよう」

力量名簿 1					
目標	1	2	3	11	
氏名	中津川 忍		生年月日	昭和43年 7月 26日	
住居	板橋区 仲宿在住		家族構成	嫁1 子5名 孫6名	
所属	株式会社ケアシップ 居宅支援、訪問介護、介護タクシー、デイサービス 支え合い会議仲宿				
経歴	板橋で育ち、学生時代は教科書を聞くことと眠くなる性格 いまでもあまり変わらない。 我慢が苦手。しかしおもしろいとか、やりたいと感じたことは 誰よりも早く行動する。 仕事は、訪問介護、居宅支援、介護タクシー、デイサービスの会社をやっています。 会社をやっています。 「自分が老後を迎えたときにこんな事業者があったらな〜」 なんて考えて会社を運営しています。				
活動	現在の活動、支え合い会議仲宿の支援コーディネーターとして、 今後の超高齢化社会を迎え、行政や介護保険ではまかなえない時代に 対応する為、高齢者を孤立させない地域を実現する為、活動をしています				
やりたい事	貧困層のこども食堂 テレビ等で貧困で起きる事件に心を痛め、こども食堂を始めようと思いましたが、 現在行われているこども食堂の話の話を聞くと貧困の過程はほとんど来ないそうです。 地域に知られたい。いじめにあいたくない等の理由だそうです。 それでもやらないよりはましとやっている所はありますが、 生活費が子供たちに食べさせるのは目的が違う為、現在、動いていません。と。				

中津川さん発案「力量名簿」

開発の裏の弊害も見る

- ・住み続けるまちづくりを目指しショッピングセンターをつくった (→商店街はシャッター通りに)
- ・高齢者対策で特別養護老人ホーム新設増床、補助金バラマキ (→民間は疲弊してつぶれていく)
- ・介護ベッドはどんな人が使ったほうがいい?

中津川さんはみんなに問いを投げかけた。

<参加者の感想>

- ・9/9の高島平の勉強会の報告だと「地域の実態からSDGsに迫る」ということが分かった。がもう少し詳しく知りたい!

力量名簿で皆の力を集める

- ・中津川さんの考えに共感する(「こういうことなんだ!」)
- ・つなげる力が大事!もっとオープンに広げないと。みんながネットワーク力をつくっていかう。
- ・17目標の視点を持って交通整理するとよい。
- ・力量名簿いいですね。自分もつくってみたい。
- ・17目標がすべてではない、地域をよくしたいという思いが大事だ。

仲宿8町会で現在65歳以上は5500人いる。うち要介護者は2000人。25年には3000人になると言われる。どうやってみんなで支えて行ったらいいか、鋭く問われている。

「支え合い会議」がスタートしているが、縦割りの発想で子どもたちは場が使えない。認知症とどう向き合っていくか大きな課題になっている。

仲宿, 要介護 3000 人に (2025)

そんな中でのこのネットワークの役割は何か? 1つは、世界共通の羅針盤でみんなが取り組むことで力が集中される、協力もしやすい。

一人ひとり17項目のうちの何らかの専門家、もっと知り合いかかわりあって力を発揮したい。ないものはみんなで作ってあげればよい。

